

平成 25 年 5 月 17 日

【照会先】

職業安定局派遣・有期労働対策部
企画課若年者雇用対策室

室長 久知良 俊二 (内線 5862)

室長補佐 吉田 勉 (内線 5333)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3597)0331

報道関係者 各位

大学等新卒者への就職支援の状況について ～「未内定就活生への集中支援 2013」により大学生約1万7千人の就職が決定～

本日、厚生労働省及び文部科学省は、平成 24 年度新規学校卒業予定者の就職内定状況を発表しました。

この結果、新規大学卒業予定者の就職内定率は、平成 24 年 10 月 1 日時点で 63.1% (平成 9 年 3 月卒の調査開始以来 12 番目) でしたが、平成 25 年 4 月 1 日現在は 93.9% (前年同期差 0.3 ポイント増、平成 9 年 3 月卒の調査開始以来過去 6 番目) となっています。

新規学校卒業予定者の厳しい就職環境を踏まえ、厚生労働省、文部科学省、経済産業省が連携した「未内定就活生への集中支援 2013」に取り組みました (詳細は別紙 1)。

高校・大学等とジョブサポーターとの連携による個別支援の徹底により、1 月～3 月末で未内定者約 4 万 1 千人 (昨年同期は約 3 万 9 千人) が就職決定しました。特に、平成 25 年 3 月卒の大学生については、同期間に約 1 万 7 千人 (昨年同期は約 1 万 6 千人) の就職が決定しました (詳細は別紙 2)。

新規大学卒業者の就職希望率も高水準にあり、秋以降もあきらめずに就職活動を続ける姿勢がうかがえます (詳細は別紙 3)。

就職が決まらないまま卒業した方に対しても、就職内定者と同様に社会人としてのスタートがきれるよう、6 月末までを目途に、ジョブサポーターによる集中的な個別支援を実施し、1 日でも早い就職の実現に向け、全力を尽くします (詳細は別紙 4)。

【添付資料】

- 別紙 1 「未内定就活生への集中支援 2013」
- 別紙 2 「平成 24 年度におけるジョブサポーター支援対象就職決定者数」
- 別紙 3 「新規大学卒業者の就職希望率の推移」
- 別紙 4 「未就職卒業生への集中支援 2013」



未内定就活生への集中支援2013の取組状況

新卒者の就職環境が依然として厳しいことを踏まえ、文部科学省、厚生労働省、経済産業省は、未内定の学生・生徒が1人でも多く卒業までに就職できるよう、1月18日から3月末までを集中支援期間とし、「未内定就活生への集中支援2013」を実施しました。

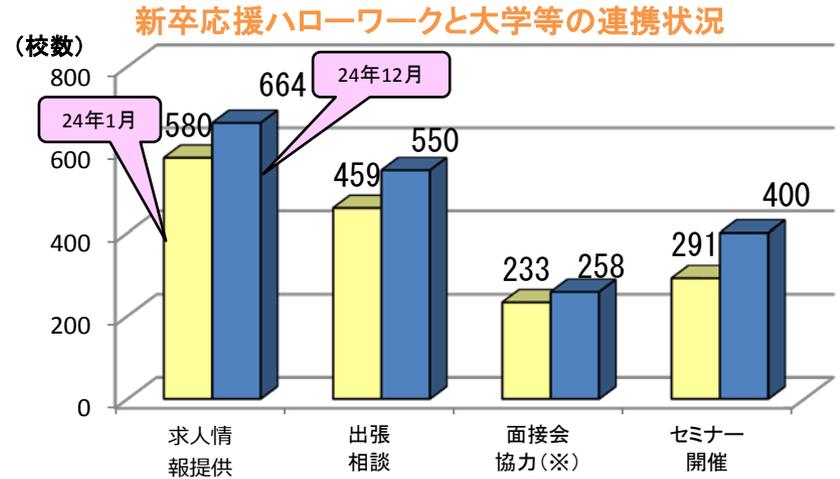
【実績】就職者数：約4.1万人（前年度約3.9万人）

※就職希望者数のうち未就職卒業生数：約4.2万人（前年度約4.8万人）

未内定の学生・生徒に「就職をあきらめさせない」ためのジョブサポーターや大学の就職相談員等の連携による個別支援の徹底（文科・厚労*）

【実績（1月～3月末・速報値）】相談件数 のべ185,753件、就職者数 40,651人（去年同期比4.3%増）

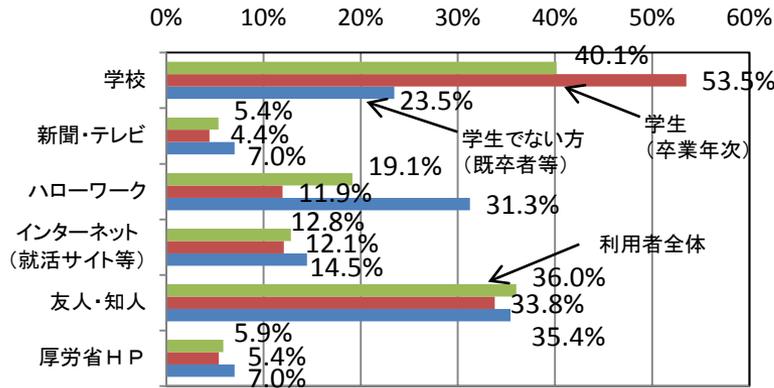
大学等から未内定者に新卒応援ハローワークを積極的に周知。大学生の利用者のうち約54%が大学等からの送り込みにより、新卒応援ハローワークに来所。新卒応援ハローワークの利用者も急増。1月～3月の、のべ利用者数（現役学生）は120,554人（前年同期比3.5%増）。



出所：職業安定局業務統計「大学との連携状況」(24年12月)

(※) 大学が開催する面接会等へのジョブサポーターの派遣、参加企業のあっせんなど

新卒応援ハローワークを知ったきっかけ



出所：職業安定局業務統計「新卒応援ハローワーク利用者アンケート調べ」(25年2月)

新卒応援ハローワークと大学との連携が進み、平成24年12月末時点で711大学※（平成24年1月現在では632）が新卒応援ハローワークと連携し、学生の就職支援をしている。

※1大学に複数の校舎があり、それぞれ別の新卒応援ハローワークと連携している場合は、別の大学としてカウント。

中堅・中小企業中心の就職面接会の開催（厚労＊・経産）

未内定の学生・生徒のために、中堅・中小企業を中心とした就職面接会

【実績（1月～3月末・速報値）】 大学生向け 170回 / 高校生向け 96回

（開催例）

「平成24年度第4回新規大卒者等合同就職面接会」

開催日：平成25年2月12日 主催：東京新卒応援ハローワーク

参加企業数：190社 求人数：2,232人 参加学生数：1,051人

地域の大学等との連携による中小企業と大学生等とのマッチング等の実施 （地域中小企業の人材確保・定着支援事業）（経産＊・文科・厚労）

地域の中小企業・小規模事業者が一体となって大学、ハローワーク等と連携し、大学等との顔の見える関係作りから中小企業と大学生等とのマッチング、人材育成・定着までを一体的に実施。

【実績（平成25年1月～2月末）】

未内定就活生を対象とした合同就職説明会の開催：25回（約7,600人の学生・既卒者が参加）

保護者を通じた未内定の学生・生徒への就職支援の周知（文科・厚労＊）

学校と連携し、未内定の学生・生徒を持つ保護者に啓発文書を送付し、就職の現状に対する理解を求めるとともに、学生・生徒に対して新卒応援ハローワークや最寄りのハローワークでの就職支援についての周知等を実施。

【実績（平成25年1月18日～平成25年3月31日）】

保護者への相談件数：9,884件、保護者対象セミナー：53回（1,850人）

啓発文書の送付：53,368通（うち、学校を通じた送付31,287通）

臨床心理士による未内定の学生・生徒の心理的ケアの実施（厚労）

就職活動の長期化等により心理的ケアが必要な未内定の学生・生徒に対して、定期的に配置する臨床心理士による心理的ケアを実施。

【実績（平成25年1月～平成25年3月31日）】

相談件数：1,566件

民間就職情報サイトによるジョブサポーター・新卒応援ハローワーク等の周知（厚労）

主要な民間就職情報サイトに対し、ジョブサポーターや新卒応援ハローワーク等の支援の周知のためのバナー掲載について協力を要請し、協力を得て、未内定の学生への周知を徹底しました。

（期間中に協力いただいた就職情報サイト（運営会社名五十音順））

- 「就活ラボ2013」：<https://www.ac-lab.jp/2013/>（運営）株式会社アクセスヒューマネクスト
- 「[en] 学生の就職情報2013」：<http://enjapan2013.com/>（運営）エン・ジャパン株式会社
- 「学情ナビ2013」：<http://www.gakujo.ne.jp/2013/>（運営）株式会社学情
- 「Re就活」：<http://re-katsu.jp/>（運営）株式会社学情
- 「就職ウォーカーNet2013」：<http://2013.s-walker.net/>（運営）株式会社ジェイ・ブロード
- 「就職ウォーカーNet2014」：<http://2014.s-walker.net/>（運営）株式会社ジェイ・ブロード
- 「就活ナビ2013」：<https://navi13.shukatsu.jp/13/>（運営）株式会社ダイヤモンド・ビックアンドリード
- 「日経就職ナビ2013」：<https://job.nikkei.co.jp/2013/top/>（運営）株式会社日経HR、株式会社ディスコ
- 「ブンナビ！2013」：<http://bunnabi.jp/2013/index.php>（運営）株式会社文化放送キャリアパートナーズ
- 「マイナビ2013」：<http://job13.mynavi.jp/2013/>（運営）株式会社マイナビ
- 「リクナビ2013」：<http://job.rikunabi.com/2013/>（運営）株式会社リクルートキャリア

政府広報によるジョブサポーター・新卒応援ハローワークの周知（厚労）

政府広報を活用し、平成25年1月から各種新聞・雑誌への広告掲載及びホームページ検索サイトへの連動広告の掲載、ラジオ番組内でのインフォメーションのほか、政府広報オンラインに特設ページを開設する等、ジョブサポーターによる支援や新卒応援ハローワークについて未内定の学生やその保護者等への周知を徹底しました。

【政府公報】政府公報オンライン特集ページ <http://www.gov-online.go.jp/tokusyu/201301/index.html>

※ 複数の省が連携して実施している支援メニューについての問い合わせ先は、*印の省へお願いします。

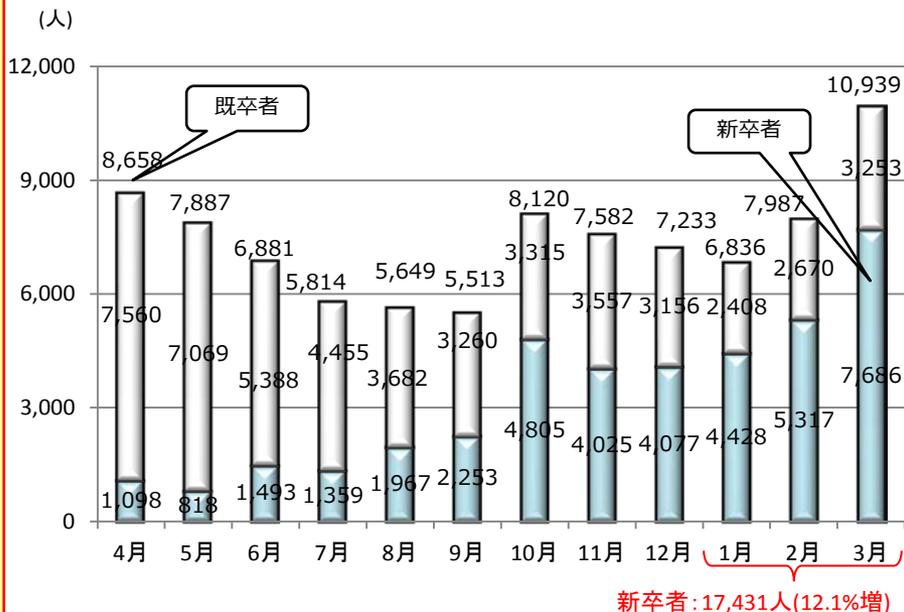
平成24年度におけるジョブサポーター支援対象就職決定者数

- ◇ 年度前半は未就職卒業者が多く、年度後半は現役の未内定学生が増加する傾向となっています。
- ◇ ジョブサポーターの新卒者（大学4年生等）に対する支援は、主に卒業が間近に迫った年度後半を中心に実施しており、大学と連携することにより、年度末までに未内定の学生を新卒応援ハローワークに登録し、学生に対し切れ目のない支援を提供しています。

【実績】

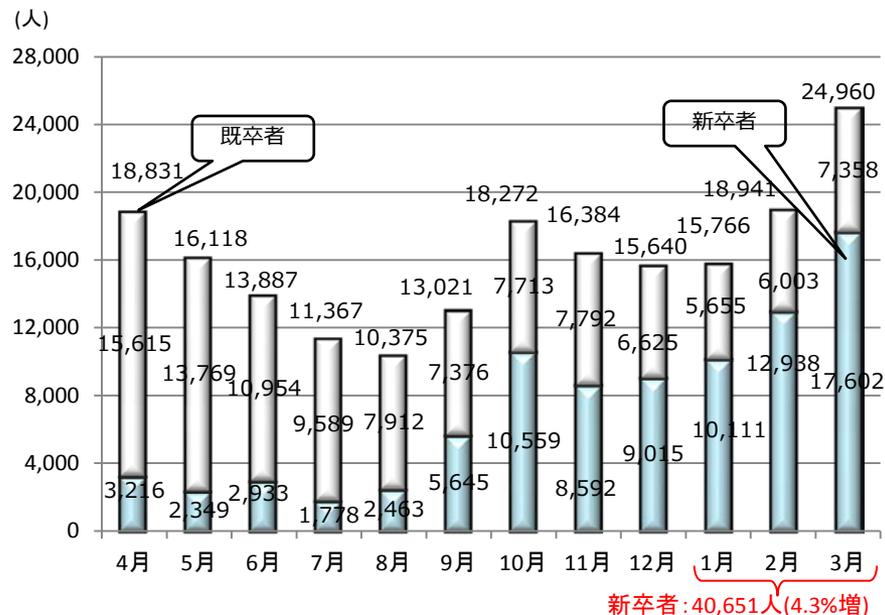
- ◇平成25年3月卒業者の平成25年1月～3月末の間の就職決定件数**40,651人**（うち、**大学生17,431人**）。
※平成24年1月～3月末はそれぞれ、38,971人（うち、大学生15,543人）。
- ◇大学生の就職決定件数（平成24年度計）は**89,099人**（前年度比**25.8%増**）、うち新卒者は**39,326人**（前年度比**33.5%増**）、既卒者は**49,773人**（前年度比**20.4%増**）となった。
- ◇学歴計の就職決定件数（平成24年度計）は**193,562人**（前年度比**18.7%増**）、うち新卒者は**87,201人**（前年度比**20.6%増**）、既卒者は**106,361人**（前年度比**17.1%増**）となった。

大学生就職決定件数（新卒・既卒）



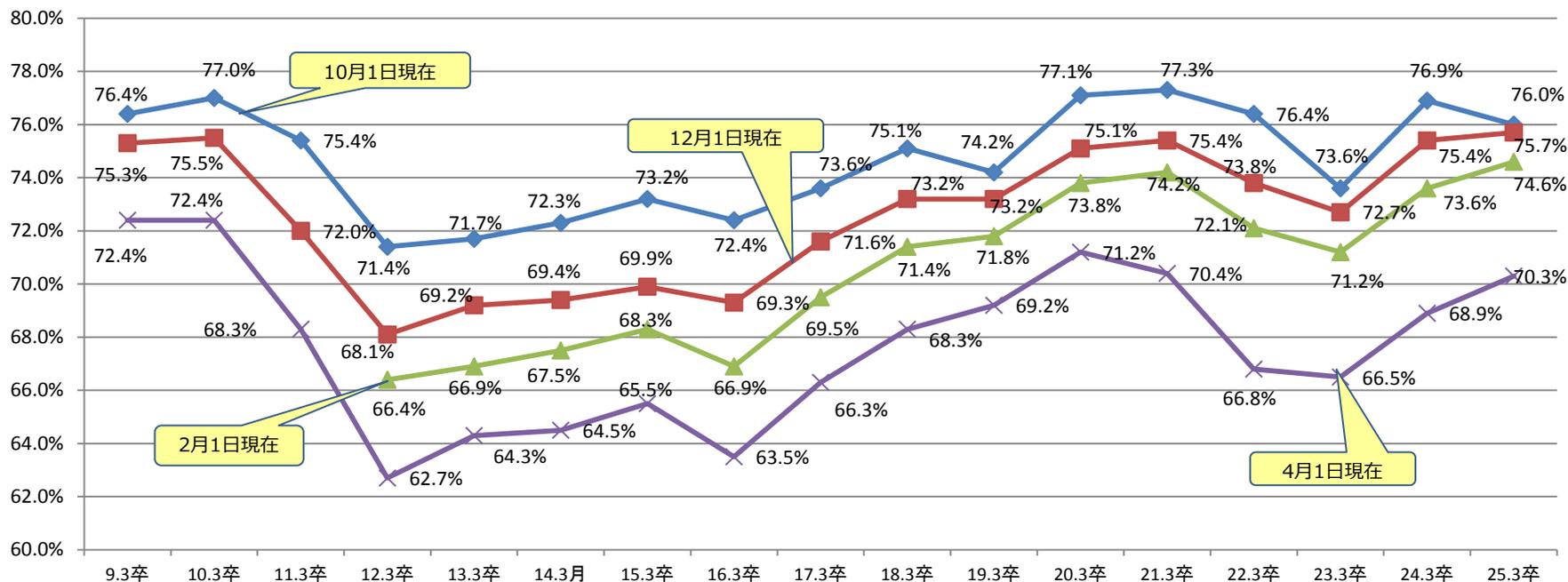
(出所)職業安定業務統計

就職決定件数（新卒・既卒/学歴計）



新規大学卒業者の就職希望率の推移

- ◇ 平成25年3月卒業の新規大学卒業者の就職希望率は、平成24年12月以降も昨年同期の状況に比べて上昇傾向にあり、多くの大企業が内定を出す10月1日以降もあきらめずに就職活動を続ける姿勢がうかがえます。
- ◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、引き続き6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2013」に取り組み、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し、就職が決まるまで全力で支援を行います（詳細は別紙4）。



(資料出所)「大学等卒業予定者就職内定状況調査」(厚生労働省・文部科学省)

(注)就職希望率は、卒業予定者数に占める就職希望者の割合。



未就職卒業生への集中支援2013

- ◇ 厚生労働省、文部科学省及び経済産業省は、1人でも多くの新卒者が卒業までに就職できるよう、1月18日から3月末まで「未内定就活生への集中支援2013」に取り組み、1月から3月末までにジョブサポーターの支援によって、約4万1千人が就職しました。
- ◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、引き続き、6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2013」に取り組み、**卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し、就職が決まるまで全力で支援を行っています。**

新卒応援ハローワーク等で卒業後も継続して就職活動を全力で支援します！

新卒応援ハローワーク等においては、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を引き続き継続するとともに、1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行います。

ジョブサポーターによる個別支援

大学等とジョブサポーターとの情報共有による支援（大学等の協力により把握した未内定者への電話による来所勧奨や求人情報の送付など）を継続するとともに、就職活動についてのアドバイスや希望に沿った求人情報の提供などの個別支援を徹底し、1日でも早い就職を目指します。

新卒応援ハローワークの所在地・連絡先：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/dl/5a.pdf>

就職面接会の開催

中小・中堅企業を中心に就職面接会を追加開催、企業との出会いの機会を増やします。若年者のためのワンストップサービスセンター（通称：ジョブカフェ）においても未内定卒業生等向けにカウンセリング等を実施します。

就職面接会の開催スケジュール：<http://job.gakusei.go.jp/service/231030.do?action=initDisp&screenId=231030>

各地のジョブカフェ：http://www.meti.go.jp/policy/jobcafe/jobcafe_all.html

地域の大学等との連携による中小企業とのマッチングの実施

地域の中小企業・小規模事業者が一体となって大学、ハローワーク等と連携し、大学等との顔の見える関係作りから中小企業と学生等とのマッチング、人材育成・定着までを一体的に実施します。

地域中小企業の人材確保・定着支援事業ホームページ：<http://chiiki-iinzai.com/>

※ 上記の支援や新卒応援ハローワークについては、卒業後も利用可能です。

さらに、ニーズに応じて無料の職業訓練やインターンシップも活用し、就職を支援します。

無料の職業訓練等によるスキルアップ

求職者支援制度による職業訓練において設定される未就職卒業生向けの無料の職業訓練や企業に雇用されながら生きた技能・技術を学ぶための雇用型訓練を活用し、スキルアップを支援します。

詳しくはお近くのハローワークまでお問い合わせください（<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/>）。

中小企業・小規模事業者の事業現場でインターンシップを実施

中小企業・小規模事業者の事業現場で働く上で必要な技術・技能・ノウハウを習得する機会を提供するため、中小企業・小規模事業者で実施する職場実習（いわゆるインターンシップ）を支援します。

中小企業庁人材対策事業ホームページ：<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/koyou/iinzai.htm>

～未就職のまま卒業された方に対する就職支援を継続して行います～

○ 卒業後も引き続き、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等による支援を継続し、1日でも早い就職を目指します。

【未内定のまま卒業された方のうち、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等の支援による就職の実績】

平成24年4月～6月：24,663人

平成23年4月～6月：19,815人

～ジョブサポーター等の支援による未内定卒業生の就職事例～

事例1

在学中に6社に応募し、最終選考までは残るものの内定を得られなかったAさん。既卒者を対象とした求人があることを知らなかったため、留年して新卒求人に再チャレンジすることを検討していたが、ジョブサポーターから既卒者でも応募できる求人があること、卒業後もハローワークで就職支援を受けることができる旨の説明を受け、卒業したうえで就職活動を続けることとした。ジョブサポーターによる面接指導を受け、新卒応援ハローワークが紹介した人に応募したところ、希望職種(放送業界)に就職することができた。

事例2

スポーツインストラクターを希望していたBさん。求人が少ない職種のため就職出来ないまま卒業することとなった。Bさんの個別支援を担当するジョブサポーターが、過去、ハローワークに提出された求人から希望職種の求人を提出したところのある事業所を探し出し、個別求人開拓を実施したところ、大卒等求人を提出してもらえらることとなった。Bさんが不安に感じていた履歴書の作成指導を重点的に行う等の対策を講じたうえで、求人に応募した結果、書類選考を突破。面接を経て就職に至った。

事例3

地元(実家)から離れた地域の大学に進学し、当該地域での就職を目指してしていたCさん。未内定のまま卒業し、地元に戻って就職活動を継続することとなった。地元の新卒応援ハローワークのジョブサポーターがそれまでの就職活動の状況を聞き取ったところ、学生時代を過ごした地域での就職に固執し、応募する求人(企業)に一貫性がないことが判明。相談の中で本来の希望職種、希望就業地等を再認識させ、たうえで他地域への人事異動もある地元企業の求人を紹介したところ採用されることとなった。

事例4

大学在学中は公務員を目指していたDさん。試験に合格することができず、卒業後、民間企業への就職に変更し、ハローワークに来所。Dさんは非常に真面目で実直な性格であったが、限られた時間で自分をPRすることが苦手であり、書類選考に通過するものの最終面接が突破できない状態が続いた。ジョブサポーターが某中小企業を訪問した際に「新しい人材を採用したいが、なかなか大学生の応募がない」という事業主の話を聞き、Dさんの人柄や長所を説明したうえで、面接してくれるよう依頼。実施された採用面接においては、Dさんの話しをじっくり聞く時間が設けられ、結果として営業職として採用となった。